

平成30年度 事業報告書

(自 平成30年6月1日 ~ 至 令和元年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を計画実施した。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

主に小中学生を対象としたそり競技体験会を、傘下の道府県連盟主催で実施した。

行事名称	主催	開催地	会場	開催日	延べ体験人数
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	札幌ドーム	2018/4/30	379
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	札幌ドーム	2018/6/23	502
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	札幌真駒内アリーナ	2018/7/16	565
プッシュボブ・スケルトン競技体験会	宮城県連	宮城	仙台大学	2018/6/30	22
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	キロロリゾート	2018/9/24	343
プッシュボブ・スケルトン競技体験会	宮城県連	宮城	仙台大学	2018/9/29	18
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	滝野すずらん公園	2018/9/30	605
プラスチックソリ大会	宮城県連	宮城	太陽の村	2018/10/20	30
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	札幌ドーム	2018/10/28	582
ローラースケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	大倉山	2018/11/3	252
FU'S スケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	Fu's	2019/1/27	35
ボブスレー体験教室	北海道 BS	北海道	大倉山	2019/2/3	233
FU'S スケルトン大会	北海道 BS	北海道	Fu's	2019/2/11	39
ボブスレー・スケルトン体験教室	北海道 BS	北海道	札幌大通フェス	2019/2/24	800
ボブスレー体験教室	北海道 BS	北海道	温根湯温泉	2019/3/2、3	144
ボブスレー体験教室	北海道 BS	北海道	温根湯温泉	2019/3/9、10	52

※北海道 BS: 北海道ボブスレー・スケルトン連盟

(2) 選手発掘測定会(トライアウト)事業

トライアウトで発掘した選手の中から、ボブスレー・スケルトンの強化指定選手を輩出することができた。また、発掘選手および若手選手を対象に育成合宿を実施し、基礎的知識や技術教育を行った。

日本スポーツ協会主催 JSTAR プロジェクトに準競技として参加した。

北海道庁主催ウィンタースポーツコンソーシアム事業に協力し、地域タレント発掘事業出身選手を同事業に参加させ、プログラムを受講することにより、ユースシリーズ サンモリッツ大会ではスケルトン男子が4位に入った。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加人数
第1回 選手発掘測定会	東京	代々木公園	2018/6/9	16
第2回 選手発掘測定会	宮城	仙台大学	2018/7/1	11
第1回 育成合宿	長野	長野スパイラル	2018/7/14-16	5
第3回 選手発掘測定会	長野	長野スパイラル	2018/7/27	4
第2回 育成合宿	長野	長野スパイラル	2018/7/31-8/1	7
第3回 育成合宿	長野	長野スパイラル	2018/8/22-26	11
第4回 育成合宿	東京	味の素 NTC	2018/10/6-8	9
第5回 育成合宿	カナダ	カルガリー	2018/11/5-12/2	5
第6回 育成合宿	カナダ	カルガリー	2018/12/25-1/6	6
第7回 育成合宿	カナダ	カルガリー	2019/2/4-19	9
第8回 育成合宿	カナダ	ウイスラー	2019/3/17-26	4

(3) 国際大会・全国大会事業

国内大会の主会場であった長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)が、H30年度は冬季整氷を休止したため、日本連盟が主催・運営した冬季大会も全て休止した。

なお、夏季大会であるボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、ルールや運営方法を定めた要綱を作成して以下により開催した。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加選手数
2018 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野	スパイラル	2018/8/4	29
2018 全日本プッシュ ボブスレー選手権大会	長野	スパイラル	2018/8/4	17

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、競技役員の確保のほか、選手やコーチの基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催した。

研修会・講習会の講師は国際審判員資格取得者が行っている。なお、競技普及の一助となるよう、参加料はすべて無料としている。

国内冬季大会の休止の影響で、30年度は本連盟公認の審判資格取得試験の受験者がいなかった。

開催日	連盟	種別	会場	研修会名
2018/10/8	長野	S	スパイラル(長野県長野市)	育成選手ルール講習会
2018/12/1	大阪	B, S	サンライフ明石(兵庫県明石市)	審判・ルール講習会

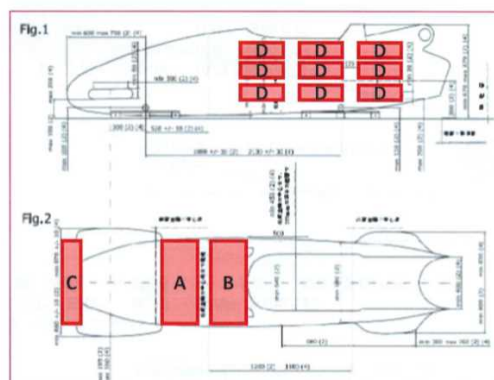
※B…ボブスレー、S…スケルトン

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季整氷休止で、本年度の活動も休止。

(6) 広報・ファンドレイジング活動事業

(株)アサヒエージェンシーとマーケティング業務に関する覚書を取り交わし、スポンサーメニューの作成やターゲット43社への紹介を行ったが、本年度は新スポンサーとの成約には至らなかった。



※別途、オフィシャルウェア・競技ウェアにも掲示いたします。

A	スポンサー料金 2,000万円 最大面積 1,000cm ²	C	スポンサー料金 1,000万円 最大面積 250cm ²
B	スポンサー料金 1,000万円 最大面積 800cm ²	D	スポンサー料金 300万円 最大面積 300cm ²

H30年度ボブスレースポンサーメニュー

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) ナショナルチーム選抜・強化事業

-1. ボブスレー

前ドイツ人ヘッドコーチの指導では 2018 年平昌オリンピックの出場枠を確保できなかったことを受け、本年度は新たなドイツ人ヘッドコーチを招聘した。新体制では 2022 年北京オリンピック、2026 年オリンピックでの入賞、メダルを目指して、選手強化、選手発掘、マテリアル強化を推進していく。

【1.強化報告】

① 選手発掘

本年度は選手発掘を重点的におこなった結果、トライアウト事業で 2 名、スカウティング活動で 2 名、計 4 名が日本代表選考合宿に参加し、内 3 名の選手が日本代表として海外遠征に参加した。中でも日本選手権十種競技 4 位の選手をスカウトすることができ、スタートタイムが昨年よりも向上した。

② パイロット強化

本年度はスプリント能力の高い 3 名のブレーカーをパイロットに転向させた。篠原選手が 200 本の滑走(トレーニング、試合含む)、佐々木選手、高橋選手は共に 150 本と、多くのパイロット滑走経験を積ませることで順調に成長し、昨年度を大幅に上回る成績を残した。引き続き 3 名のパイロットを強化していく。

③ マテリアル

ドイツ人ヘッドコーチとドイツ人コーチ 2 名を招聘したが、両名ともそりのメンテナンス、カスタムが得意な人物である。パイロットそれぞれに合わせて行き届いたセッティングをおこなったことにより、道具に対する不安がなくなり選手は安心して滑走することができた。また、コースに対応したそりのセッティングをすることにより、上位チームとのタイム差も減少した。

④ コンディショニング

海外遠征にトレーナーを帯同させ、選手のコンディション低下を防止することができた。毎朝コーチ陣でミーティングを実施し、選手のコンディションについてトレーナーから報告してもらうことにより、選手の体調を把握することができ、トレーニングや大会での選手決定に役立った。

また、遠征中に体幹トレーニングの時間を設けて指導をしてもらったことにより、筋力低下をすることなくシーズンを終了することができた。

【2.国内強化合宿】

2018/4/25-29	第1回強化合宿(味の素 NTC)
2018/5/16-22	第2回強化合宿(味の素 NTC)
2018/6/11-17	第3回強化合宿(長野スパイラル)
2018/7/11-15	第4回強化合宿(長野スパイラル)
2018/8/4-8	第5回強化合宿(長野スパイラル)
2018/9/12-16	第6回強化合宿(長野スパイラル)

【3.海外強化合宿】

2019/3/16-29	男子海外強化合宿(フランス・ラプラーニュ)
--------------	-----------------------

-2. リュージュ

ローラーリュージュ滑走で操作感覚を養う為、夏季にスパイラルで2回の国内合宿、滑走経験蓄積・滑走技術強化及び国際レース参戦目的で、2回の海外合宿をおこなった。

国内合宿では、低速のローラーリュージュの滑走練習で、フォームのチェックや操作感覚を丁寧に指導し、選手の滑走感覚維持に努めた。

海外合宿では、参戦予定の国際コース会場で合宿する事で、本番コース攻略と滑走経験の集積を目指した。1本1本の滑走に課題を与えることで、選手自ら考えコースを攻略し成長する力を養い、滑走技術の向上につなげる事が出来た。

また、今年度から女子ダブルスが国際連盟の種目に追加され、日本チームも上位を目指して取組を開始した。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加(人)
第1回 国内強化合宿	長野	長野スパイラル	2018/7/14-17	11
第2回 国内強化合宿	長野	長野スパイラル	2018/8/4-7	中止
第3回 国内強化合宿	長野	長野スパイラル	2018/9/1-4	10
第4回 国内強化合宿	長野	長野スパイラル	2018/10/6-9	中止
コントロールテスト	長野	長野スパイラル	2018/9/2	11
第1回 海外強化合宿	オーストリア・ドイツ	インスブルック他	2018/12/8-25	3
第2回 海外強化合宿	オーストリア・ドイツ	インスブルック他	2019/1/19-2/12	3

-3. スケルトン

スプリント能力重視で強化指定選手を選考し、強化・育成を行った。今シーズンは練習に特化する方針をかかげて国際レース参戦は見送り、シーズン前半により多くの滑走練習を行い、後半からはスプリント能力向上トレーニングを主体に練習を行った。

2回の海外合宿で強化指定選手に滑走経験を積ませ、個々の課題克服に取り組んだ。

行事名称	開催地	会場	開催日	参加(人)
第1回国際大会出場選手選考会	長野	長野市運動公園	2018/8/5-6	24
第2回国際大会出場選手選考会	長野	長野スパイラル	2018/9/8-9	20
第1回 国内強化合宿	長野	長野スパイラル	2018/9/22-24	7
第1回 海外強化合宿	カナダ	カルガリー	2018/11/5-12/2	8
第2回 海外強化合宿	ドイツ	ケニクゼー	2018/12/10-26	9
第2回 国内強化合宿	東京	NTC	2019/3/8-10	11

(2)海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

男子<<2人乗り>>

2018/12/6 EC 第1戦(アルテンベルグ:ドイツ)

20位 篠原・金子
21位 高橋・本間
22位 佐々木・村上

2018/12/7 EC 第2戦(アルテンベルグ:ドイツ)

16位 佐々木・村上
18位 篠原・金子
20位 高橋・本間

2018/12/12 EC 第3戦(ケニグゼー:ドイツ)

19位 篠原・金子
22位 佐々木・村上
30位 高橋・本間

2018/12/13 EC 第4戦(ケニグゼー:ドイツ)

17位 篠原・村上
23位 高橋・小林
35位 佐々木・本間

2019/1/4 EC 第5戦(ウインターベルグ:ドイツ)

14位 篠原・村上
19位 佐々木・本間
24位 高橋・金子

2019/1/10 EC 第6戦(イグルス:オーストリア)

13位 篠原・村上
19位 佐々木・本間
24位 高橋・金子

男子<<4人乗り>>

2018/12/15 EC 第2戦(ケニグゼー:ドイツ)

22位 篠原・小林・村上・本間

2018/12/16 EC 第3戦(ケニグゼー:ドイツ)

19位 篠原・小林・村上・本間

2019/1/5 EC 第4戦(ウインターベルグ:ドイツ)

10位 篠原・小林・村上・本間

2019/1/6 EC 第5戦(ウインターベルグ:ドイツ)

11位 篠原・小林・村上・本間

2019/1/11 EC 第6戦(イグルス:オーストリア)

15位 篠原・小林・村上・本間

2019/1/11 EC 第7戦(イグルス:オーストリア)

17位 篠原・佐々木・金子・高橋

2019/1/12 EC 第8戦(イグルス:オーストリア)

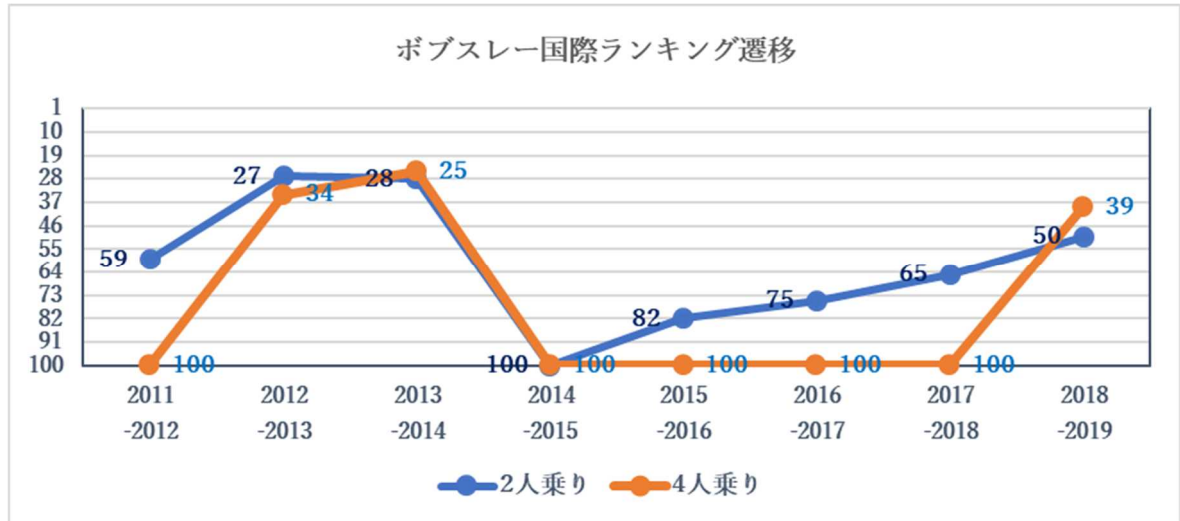
16位 篠原・小林・村上・本間

2019/2/3 Jr.世界選手権(ケニグゼー:ドイツ)

17位 篠原・佐々木・奥田・本間

《ボブスレー国際ランキング》

2017-2018 年度では、2 人乗り IBSF ランキングの最高位が 65 位だったが、2018-2019 年度に於いては最高位が 50 位となり 15 ポイント順位が上昇した。他 2 名のパイロットも 59 位、62 位となり、パイロット初年度でいずれも前年順位を上回った。



-2. リュージュ

①ジュニアワールドカップ ヴィンターベルク

<男子シングル>

小林誠也選手 17/41 位 1 本目 44.553 (20 位) 2 本目 44.501 (14 位)

<女子シングル>

新野彩季選手 36/47 位 1 本目 46.597 (39 位) 2 本目 45.531 (24 位)

石川雪姫選手 37/47 位 1 本目 46.238 (38 位) 2 本目 46.196 (36 位)

<女子ダブルス>

新野・石川チーム 13/14 位 1 本目 27.748 (12 位) 2 本目 27.528 (13 位)

シングルは、男女共に終盤のラビリンズ(小さなカーブの連続)のタイミングが合わず、タイムが伸びなかった。

女子ダブルスでは、練習での転倒など苦戦した部分も多くあったが、本番では 2 本ともまとめる事ができ、来年度のユースオリンピックの出場条件のポイントをクリアした。

②ジュニア世界選手権 インスブルック

<男子シングル>

小林誠也選手 23/41 位 1 本目 52.527 (25 位) 2 本目 52.857 (23 位)

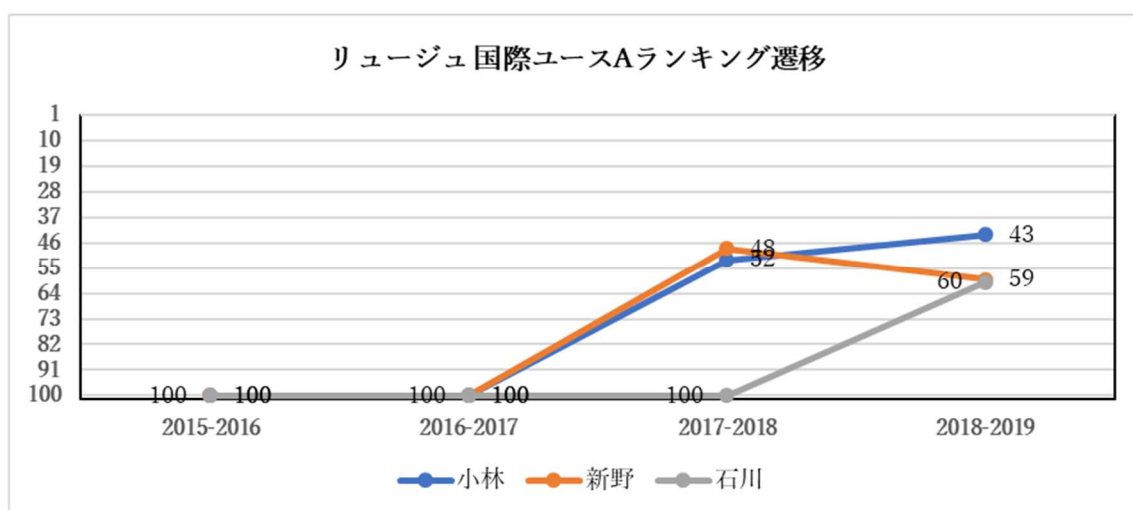
<女子シングル>

新野彩季選手 38/53 位 1 本目 42.336 (38 位)

石川雪姫選手 50/53 位 1 本目 45.448 (50 位)

小林選手が 1 本目からミスも少なく、自己ベストに近いタイムで滑走して 2 本目に進出。そのまま 2 本目も好タイムで目標を上回る成績となった。

女子 2 名については序盤でのミスが大きく影響し、2 本目に進めなかった。



-3. スケルトン

ユースシリーズ サンモリッツ 男子シングル 臼井貴将選手 4/17 位

(3)指導者養成事業

-1 事業内容

- ・公認コーチ取得希望者への取り纏めと案内、日本スポーツ協会への申請手続き
- ・日本スポーツ協会からの「受講の手続き」、講習会資料の送付(事務局と連携)
- ・専門科目講習会の日程調整、講師決定・依頼、会場依頼、準備品確認・依頼、資料準備、開催前の日本スポーツ協会への申請、開催後の報告手続き、受講状況の整理ほかの業務推進

-2 公認コーチ取得者について

本年度の専門科目講座は、希望者が 1 名のため新規受講者向け講座は開設せず、継続受講者の受講完了を目指して事業を実施した。受講対象者の未完了専門科目について日程調整した結果、1 回のみで完了することとなった。

当年度での公認コーチ資格取得状況は下記の通りである。

* 平成 30 年度専門科目受講完了者 【大阪連盟】3 名

-3 専門科目実施に関して

当初は 3 期(8 月 9 月 10 月)を予定したが、日程調整した結果 2 期(8 月 9 月)実施にて終了した。海外遠征に出るコーチもある為、早期に専門科目を終了して欲しいとの声があるので、これに応えた日程調整を考えたい。

(4)長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季整氷休止のため、スパイラルの機材を活用した同事業も活動を休止した。

(5)医科学サポート推進事業

正しい倫理観や道徳心を有するアスリートを育成するため、スポーツインテグリティ教育プログラムを夏季合宿で実践し、オリンピック強化指定選手が自らの価値を守る為の知識と手段を習得する機会を提供した。また、オンライン研修プログラムについても積極的に活用し、JOC と連携してオリンピック強化指定選手に最新情報を届けた。

本連盟が主催する全日本ボブスレー・スケルトンプッシュ選手権大会(8/4:スパイラル)を活用し、講師を招いたアンチドーピング講習会を開催して、参加選手に対しての啓蒙活動を継続した。

行事名称	開催地	会場	開催日	(人)
アンチドーピング講習会(ボブスレー・スケルトン)	長野	スパイラル研修室	2018/8/4	35
インテグリティ・アンチドーピング講習会(リュージュ)	長野	スパイラル研修室	2018/9/2	10

以上